平成２９年度岩手県教育研究発表会

「いわての防災スクール」事業　実践報告

－避難所生活体験を中核とした小中・地域一体となった防災教育の推進－

滝沢市立柳沢小中学校

全体計画

小３・４年
防災体験学習

小５・６年
火 山 学 習

中１～３年
被災地訪問

小３～中３年　岩手山の地層と噴火の歴史学習

Goal！！

小５～中３年　避難所生活体験学習

教　員
先進校視察

小１～中３年　復興副読本を活用した授業の公開

小３・４年　防災体験学習
（岩手県立総合防災センター）

平成29年6月19日「トトロ」　第2号

命、救う救助袋!!

六月九日、矢巾町の防災センターに行きました。地しん体験で十段階まであ、ることが分かりました。震度七のゆれは、おなべが落ちてくるほど大きい地しんでした。

救助袋では、人を救うために、すべる訓練をしました。災害にあ、た人たちの命を守るために、じしん、火事が起きた時のようにそなえていたのがすごいと思いました。私もセンターの方々のようになりたいです。

おれい

センターのみな様へ。人のために、いっしょうけんめい働いているセンターの方々から災害のことについて教えていただいたので色々知ることができました。

トトロ　小4年　柳沢

小５・６年　火山学習
（イーハトーブ火山局・焼走り）

平成29年6月19日　「フィッシュ」　第1号

フィッシュ

見つけたペリドット！

柳沢小 5年

六月九日、焼走り熔岩流を見学しました。焼走り熔岩流は、岩手山の五号目（2380m）からふんしゃされました。熔岩の中にペリドットという石があります。その石はめったに見つけられないそうです。見つけられたのでうれしかったです。でも、ペリドットのほかに社長石、ハイライト、という石もあるそうです。

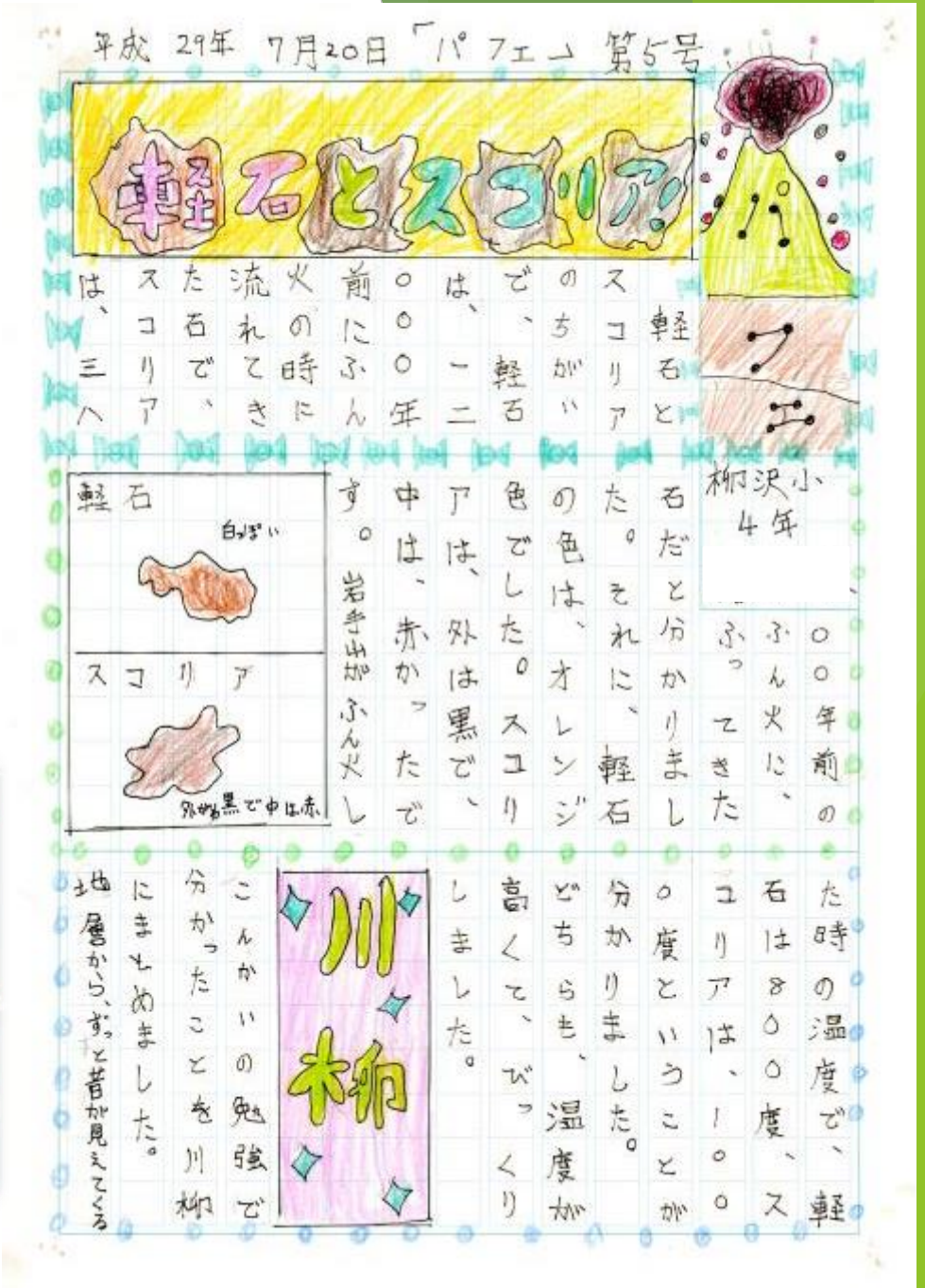
感想

私が、砂防えんていで学んだことは、岩手山はきょうふと、めぐみがあるということを知りました。きょうふはふん火、マグマ、めぐみは水、自然ということが分かってよかったと思いました。ちゃんと家族にも教えてあげたいです。

中１～３年　被災地訪問
（陸前高田市方面）

「大津波は建物等の目に見えるものだけではなく、**心という内面までも奪ってしまうほど大変な出来事**だったのだと改めて感じました。」

小３～中３年
岩手山の地層と噴火の歴史学習



平成29年7月20日「パフェ」第5号

軽石とスコリア

柳沢小4年

軽石とスコリアのちがいは、色でした。スコリアは、外は黒で、中は、赤かったです。岩手山がふん火した時の温度で、軽石は800度、スコリアは、1000度ということが分かりました。

軽石
白っぽい

スコリア
外は黒で中は赤

それに、軽石どちらも、温度が高くて、びっくりしました。

00年前のふん火に、ふってきたこんかいの勉強で分かったことを川柳にまとめました。

地層から、ずっと昔が見えてくる

川柳

小１～中３年　　復興副読本を活用した授業の公開

「そのとき、どうする？」（小１年）

「ひなんリュックに、なに入れる？」（小２年）

「できますゼッケン」（中１年）

全体計画

小３・４年
防災体験学習

小５・６年
火 山 学 習

中１～３年
被災地見学

小３～中３年　岩手山の地層と噴火の歴史学習

小５～中３年　避難所生活体験学習

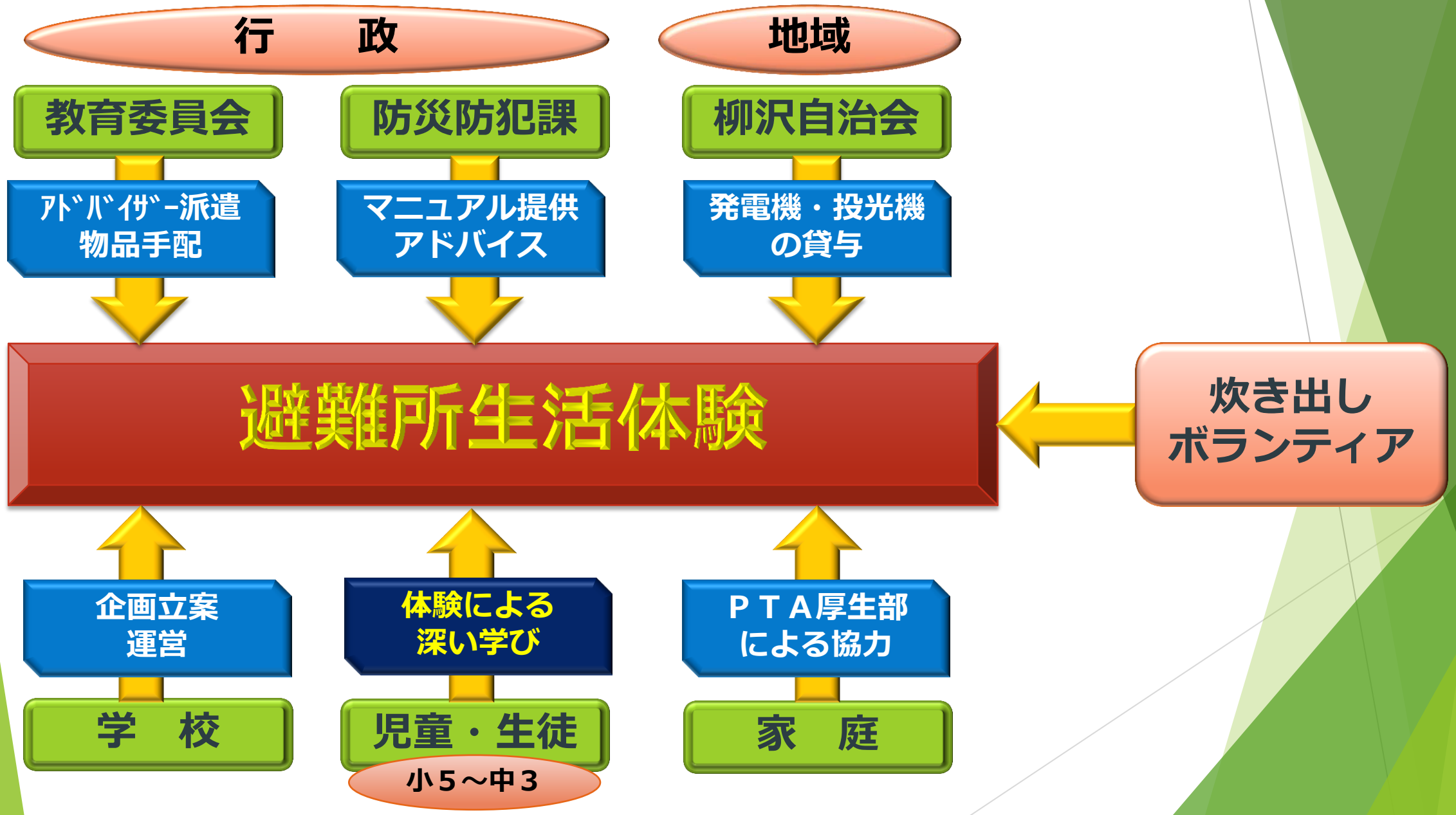
教　員
先進校視察

小１～中３年　復興副読本を活用した授業の公開

避難所生活体験学習のねらい

- 家族や地域のために働くという意識の醸成
- 災害発生時、人に迷惑をかけず、
  自らの役割を果たすという意識の向上
- 防災と地域に対する関心と自覚の高まり

家庭・地域・行政との連携


行　政
地域
教育委員会
防災防犯課
柳沢自治会
ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣
物品手配
マニュアル提供
アドバイス
発電機・投光機
の貸与
避難所生活体験
炊き出し
ボランティア
企画立案
運営
体験による
深い学び
ＰＴＡ厚生部
による協力
学　校
児童・生徒
小５～中３
家　庭

避難所生活体験の流れ

避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

↓

避難所設営体験

↓

講　　演　　会

↓

宿　泊　体　験

避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

- 避難所の出来事や避難者対応をゲーム感覚で疑似体験する防災カードゲーム

避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

- 読み上げ係…避難者カードを読み上げプレーヤーに渡す
- プレーヤー…相談し、避難者カードを配置していく

避難所運営ゲーム（避難者カード）

32　　世帯番号【９】
南田2466　　【南田４班】

かいこう
海溝さん
【男33歳】一部損壊
世帯主、妻、長男、長女

　テントを持参したので、校庭に張りたい。
　どこに張ればよいか。

避難所運営ゲーム（イベントカード）

29　イベント番号【５】

　災害対策本部ですが、トイレや職員室、危険な場所をとり急ぎ立ち入り禁止にしてください。

掲示板に掲示して
みんなに知らせよう！

避難所運営ゲーム（児童生徒の様子）

- 中学生＝進んで動き、積極的に取り組む
- 小学生＝中学生を見て、できることをやろうとする

避難所運営ゲームの感想

- 小学生

「いろんな事情をもった人がいたり、物を運びこむ場所を考えたりして、とても大変だった。**避難所のスタッフは大変だ**と思った」

- 中学生

「どんどん人があふれてきて、**対処するのが難しかった。**カードでも難しいのだから、**実際に**そういうことが**起きたら、どれだけ大変なんだ**と思いました。」

避難所運営ゲームの感想

- 保護者

「どんなゲームか分からなかったので、やりながら『なるほど』と思いながら楽しくやりました。実際の現場では楽しくできるわけはなく、**どこをどうするのかとパニックになりそうでした。**状況を考えながら配置していくこのゲームは頭を使い想像しながらやりましたが難しかったです。**子ども達が考えながらやっていたので、すごい**と思いました。」

避難所生活体験の流れ

避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

↓

避難所設営体験

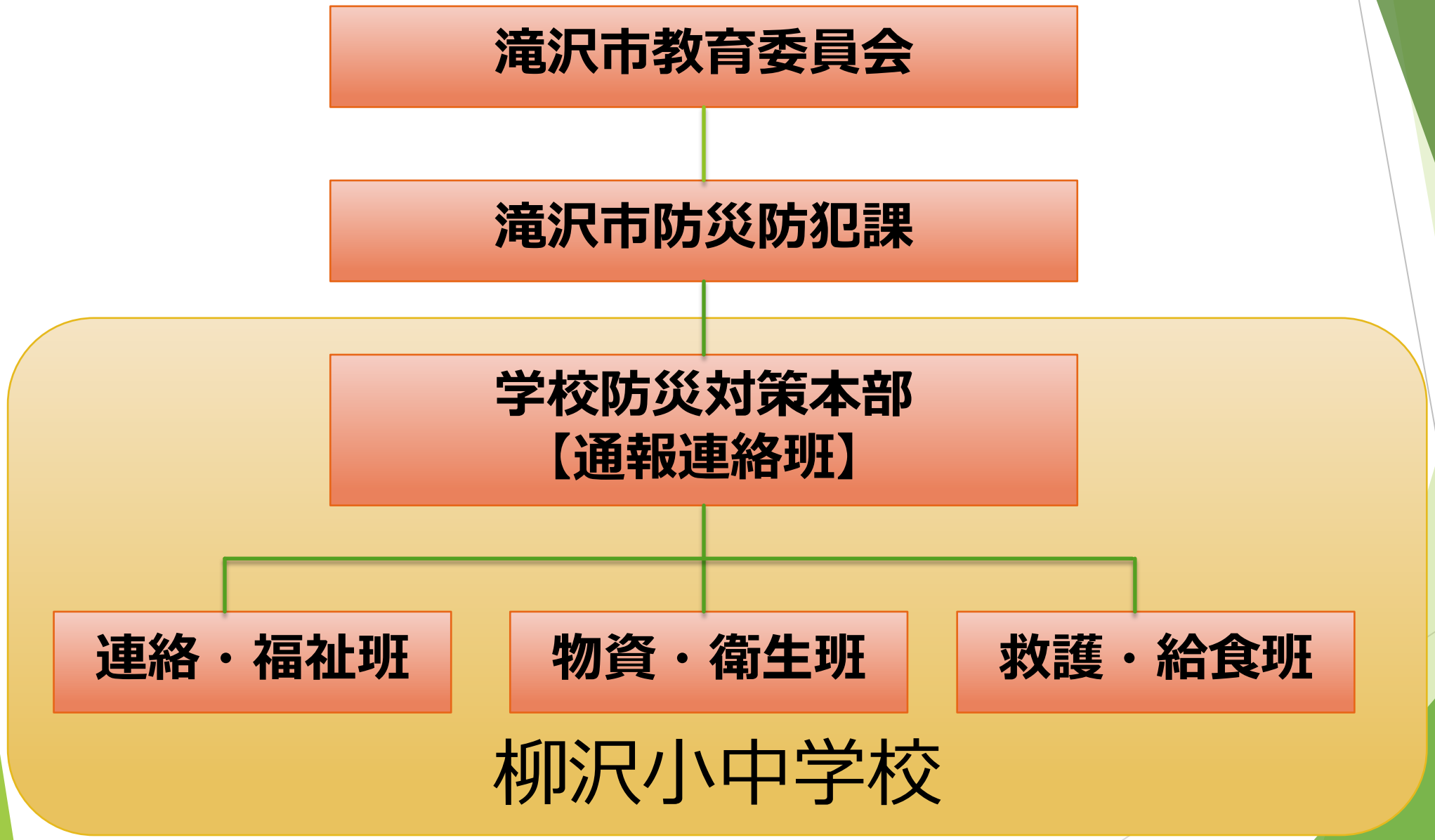
↓

講　　演　　会

↓

宿　泊　体　験

学校防災対策組織図


滝沢市教育委員会
滝沢市防災防犯課
学校防災対策本部
【通報連絡班】
連絡・福祉班
物資・衛生班
救護・給食班
柳沢小中学校

連絡・福祉班

▶受付場所の設置と受付

物資・衛生班

- 柔道の畳や卓球のフェンス等を活用し居住スペース作り

物資・衛生班

▶暑さ、虫除け対策の網の設営

救護・給食班

- 食器再利用のためのラップ巻

救護・給食班

- 水だけでできるアルファ米による
  五目ごはん作り

夕食の様子

- 夕食＝五目ごはん＋ちゃんこ

夕食の様子

- 地区ごとの居住スペースで夕食

避難所生活体験の流れ

避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

↓

避難所設営体験

↓

講　　演　　会

↓

宿　泊　体　験

講演会　岡田　孝さん
（ＪＡ宮城）

・東日本大震災当時の石巻の様子
・ＪＡとしての支援の取組
・車で行った熊本への支援
・人間同士が助け合う絆の強さ

講演会　菅原晴広さん（ちゃんこ大五郎）

・東日本大震災の際、炊き出しに行った時のエピソード
・東日本大震災の被害の様子や復興支援の苦労
・「ありがとう」という言葉の大切さ

講演会
＝児童生徒の学び＝

「自分は何をすればよいかを考えていけば、自然とやるべきことがわかってくると思った。」
「テレビに映らなくなると、あまり考えなくなっていたので、何が被災地に必要かをこれから考えていきたい。」

避難所生活体験の流れ

避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

↓

避難所設営体験

↓

講　　演　　会

↓

宿　泊　体　験

宿泊体験の様子

＝児童生徒のアンケート結果＝

学　習　内　容	アンケート結果（５点満点）
避難所運営ゲーム	４．７
避 難 所 設 営 体 験	４．７
講　　演　　会	４．８

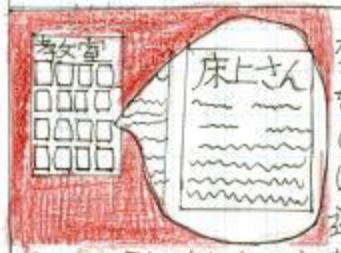
＝児童の振り返り＝

平成29年8月22日　「鷹」　第6号

助ける側の大変さ

一番

七月二十一日～二十二日の二日間、避難所生活体験をしました。そこでHUGゲームをやりました。HUGゲームとはつぎつぎとくる



柳沢小6年

避難者のカードを、適切に配置したり、犬を置きたいなどのことにもこたえていくゲームです。パニックになりました。大変なのは避難者だけではないんだなと改めて思いました。

人と人との助け合い

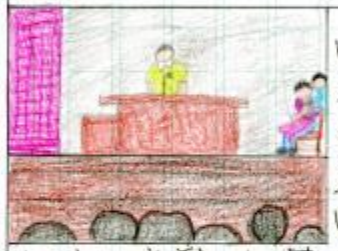
今回の避難所生活体験を通じて、助け合って生きる大切さを改めて、感じました。みんなで協力したから避難所生活体験が成功したと思いました。たった二日間だったけど、避難生活の大変さを改めて感じた、貴重な二日間でした。

平成29年8月22日　「真　珠」　第7号

助け合いで復興

真珠

七月二十一日の避難所生活体験で、最後にちゃんと大五郎さんの講演会を聞きました。話の中で一番心に残ったことは、ひさい地に



柳沢小6年

たきだしに行ったとき逆に、ひさい者から、笑顔をもらい、はげまされたということです。おたがいの助け合いで、復興し続けていると思いました。菅原さんの経験は、素晴らしいと思います。

大変な生活

ご飯は、アルファ米でした。ラップの上にのせて食べました。一日目は初めて食べて、美味いと思ったけど、二日目からは、だんだんあきてきました。避難所では、あまり自由に過ごせないことが多いので、とても大変でした。

＝生徒の振り返り＝

「実際に泊まってみると、予想以上に暑いし、床も固く、これを数日続けるだけで腰等が痛くなってしまいそうだった。これを**数ヶ月続けるのは、とても大変**だと実感した」

「声や音がとても響くので、一人が歩いたり、物を落としたりすると、うるさくなった。**他の人もいるので気をつかわなければならない**ので大変だと思った」

「窓を開けていたので風が来るかなと思ったら、あまりふいていないので暑くて大変だった。しかし、朝は寒くて温度差が大きく、**体調管理にも気をつけなければならない**と思った」

流れるきけん
火砕流と
土せき流

柳沢小
4年

火さいりゅうは、人に大きな被害をユグマが粉々になっておよぼします。土
た火山灰や軽石がせきりゅうは、山しまうとあぶない
高温の火山ガスとから土や石が一気です。ですからふ
一体となってなだに流れ落ちてくるに放送をしっかりと聞くよう
にしてください。

れ落ちる火ものです。どちら
さいりゅうも山からものすご
は、建物やいきおいで流れ
てきます。とても
速いので、見えて

＝成　果＝

○避難所運営計画の追加

→五者の**役割と連携の明確化**

・市防災防犯課の協力→実践的な学習に

○防災アドバイザーやボランティアの招聘

→児童生徒＋教職員の**学びの深まり**

・学び＝岩手山の噴火の歴史、メカニズム

防災意識の高まり等

○避難所生活体験

→児童生徒の**自助・共助の考えの深まり**

＝課　題＝

- 実践継続のための計画の吟味
- 教科等と防災教育の関連に関する研修
- 家庭や地域との継続的な連携のための工夫

ご静聴ありがとうございました